

メキシコの金利引き上げについて

2015年12月21日

12月17日(現地時間)、メキシコ中銀は、政策金利を0.25%引き上げ、3.25%とすることを決定しました。市場関係者の多くは前日の米国の利上げ決定を受け、メキシコ中銀も米国に追随して利上げに踏み切ると予想していたことから、利上げ決定直後の為替市場の反応は限定的でした。

《利上げに至った経緯について》

メキシコ中銀は、今回の利上げ決定の理由として、米国の利上げに追随しなければ、米国・メキシコ間の金利差縮小によりメキシコ・ペソの下落圧力が強まり、それが予想外のインフレ率の上昇をもたらす恐れがあるためとしています。

実際にメキシコ中銀は、今年7月に年内の金融政策公表のスケジュールをすべて米国の金融政策決定後の数日以内に変更するなど、米国の利上げを意識した政策運営をしてきました。

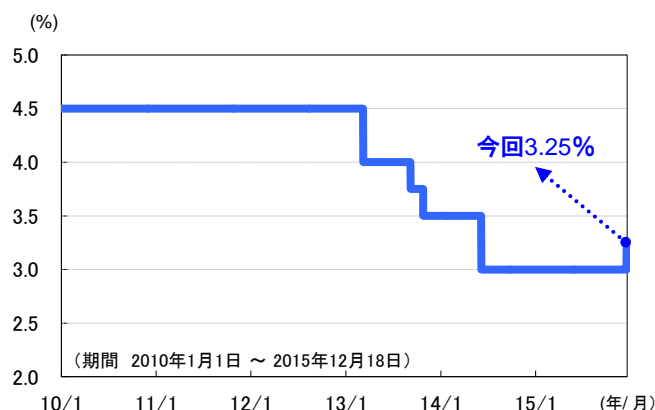
《今後の為替見通しについて》

今のところ、米国の利上げ開始に対してメキシコの追随利上げの効果もあり、メキシコ・ペソ相場は安定を保っています。ただ、米国の来年以降の利上げペースに対する思惑などから、再びメキシコ・ペソ相場が不安定化するリスクは残っているとみられ、当面は米国の金融政策をにらんだ政策運営になるものと考えられます。

メキシコ国内の景気は、最大の貿易相手国である米国の景気が先進国のなかでは相対的に好調を維持していることなどもあり、緩やかな回復基調をたどっています。一方、インフレ率は、インフレ目標の中心値である前年比+3%を下回って鈍化傾向が続いています。

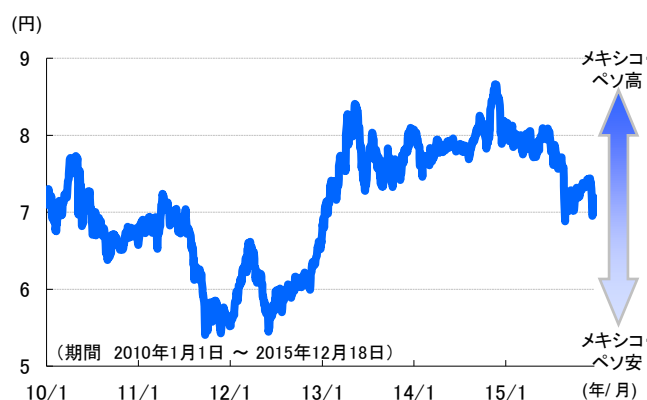
メキシコ・ペソは、通貨安・インフレ率上昇・景気悪化といった負の連鎖に苦しむ新興国等の通貨とは一線を画しているものの、新興国全般からの資金流出の圧力が強まる局面では影響を免れ得ず、上値の重い展開が見込まれます。ただ、メキシコ中銀は今後もメキシコ・ペソ急落を回避すべく米国の利上げに追随して利上げを実施する姿勢は維持するとみられることから、メキシコ・ペソ相場の底割れリスクは小さいとみています。

《メキシコの政策金利の推移》



出所：Bloombergより明治安田アセットマネジメント作成

《メキシコ・ペソの対円推移》



出所：Bloombergより明治安田アセットマネジメント作成

- 当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類(目論見書等)ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。
- 当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成日における当社の判断であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。
- 投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。